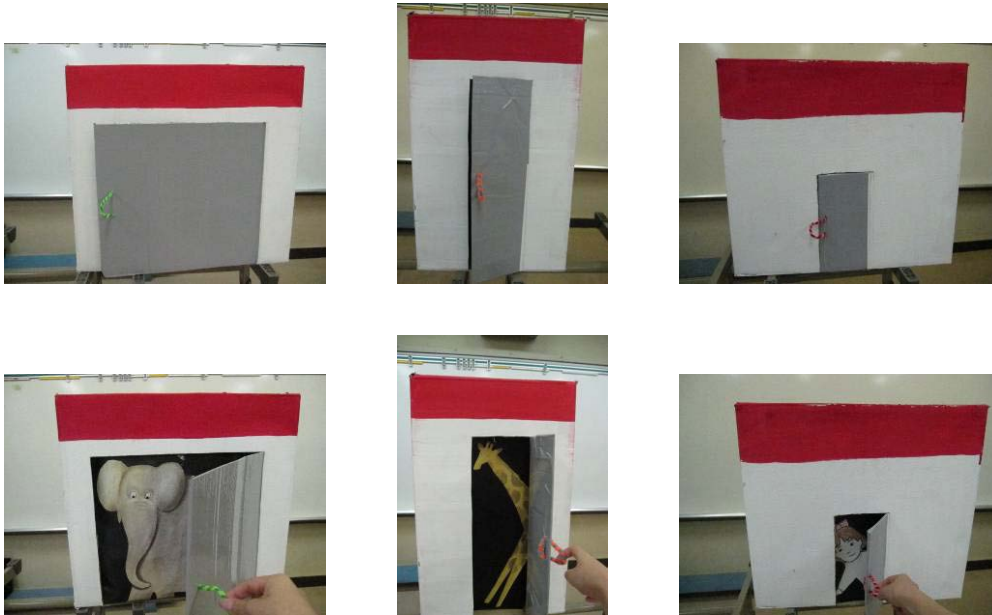


教材教具名 「あそびにきてください」

教科 (国語)

教材教具写真



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

1 ねらい ○ドアからいろいろな動物たちが出ること期待して楽しむ。

○声や簡単な動作の模倣を引き出す。

2 発達段階など 模倣・指さしを獲得する時期

3 使い方

「あそびにきてください」の読み聞かせをした後で使用する。お話の内容と同じように、ドアを「トントントン」と言いながらノックしたり、「こんにちは」と話しかけたりして、ドアについている取っ手を引っ張って開ける。すると、中から動物や女の子が出てくる。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

「あそびにきてください」の絵本をもとに、文章をわかりやすく繰り返しの文章に変えて読み聞かせをした。その後で、今回の家の模型の教材を提示し、お話と同じようにみんなもやってみようという設定で表現活動に取り組んだ。ドアをノックするときに「トントントン、こんにちは」というフレーズを繰り返して言っていたので、ある程度会話のやりとりができる児童は、「トントントン、こんにちは、開けてください」と自分で言ってドアを開けたり、その他の児童も自分からドアの部分をつたいたりして活動することができた。また、ドアの中から動物が出てくると喜んだり、次のドアを自分から開けたりする様子も見られた。

今回は動物たちは画用紙に絵を貼っただけのものだったが、パペットのようなものを使用して動くようにしたりしても面白かったかもしれない。また、児童の写真などを使用してドアから友達が出てくるという設定にしたりすると、より興味関心が持てるかもしれないと感じた。